

岐阜大学教育学部 音楽教育講座 助教

近野賢一 バリトンリサイタル

KENICHI KONNO BARITONE RECITAL



BARTONE KENICHI KONNO

バリトン 近野賢一

演奏予定曲目

F. シューベルト F. SCHUBERT

ます 舟人 菩提樹 セレナーデ
夜と夢 湖上にて 野ばら 魔王
ガニュメート ミューズの子

R. シュトラウス R. STRAUSS

ダリア なにも 万霊節
ああ不幸なこの私 セレナーデ
ひそやかな誘い 憩えわが魂
明日 解き放たれて 献呈



PIANO SHINYA OKAHARA

ピアノ 岡原慎也

2018 6/30 (土) 14時開演 (13時30分開場)



クララザール じゅうろく音楽堂

〒500-8302 岐阜市本郷町1丁目28番地

主催 岐阜大学教育学部音楽教育講座

後援 岐阜市 岐阜市教育委員会 岐阜新聞・ぎふチャン
岐阜大学教育学部音楽教育講座同窓会

※ 未就学児のご入場はご遠慮ください

入場無料 (要・整理券)

整理券取扱

♪ 松栄堂楽器本店 ☎058-265-0481

岐阜市神田町1丁目8-3

♪ 近野研究室 ☎058-293-2271

e-mail : konno@gifu-u.ac.jp

PROFILE



近野 賢一 バリトン

**KENICHI
KONNO**

北海道出身。新潟大学教育人間科学部音楽表現コースを経て、京都市立芸術大学大学院修士課程音楽研究科修了。2007年に渡独し、バーデン・ヴュルテンベルク州立フライブルク音楽大学リート・オラトリオ科及びオペラ科を修了。バイエルン州立ミュンヘン音楽演劇大学大学院リート科を修了後、2012年に帰国。

国内外にて意欲的にドイツ歌曲リサイタルを行い、『遙かなる恋人に』、『美しい水車屋の娘』、『冬の旅』、『詩人の恋』、『リーダークライス op.24 & 39』、『四つの厳粛な歌』、『リュッケルト歌曲集』、『子供の不思議な角笛』、『R.シュトラウス歌曲集』など多数の作品を取り上げている。

オペラでは『ヘンゼルとグレーテル』ペーター、『ディドとエネアス』エネアス、『フィガロの結婚』伯爵、フィガロ、『魔笛』パパゲーノ、弁者、『ペイシエンス』コロネル、『ペレアスとメリザンド』グロー等を演じ、ソリストとしては『マタイ受難曲』、『ヨハネ受難曲』、『口短調ミサ』、『レクイエム（モーツァルト、フォーレ、ブラームス）』、『メサイア』、『天地創造』、『第九』、『パウルス』、『聖チェチーリアミサ』、『戴冠ミサ』、『さすらい若人の歌』などに出演している。

2006年京都でのリサイタルに対して青山音楽賞新人賞を受賞。友愛リートコンクール第三位、併せて日本歌曲賞受賞。大曲新人音楽祭コンクール奨励賞受賞。JSG 国際シューベルト歌曲コンクール第三位、ポーランドでの第17回キェイストゥット・バツェヴィッチ記念国際室内楽コンクールリート部門第三位、オーストリアでの第16回ブラームスコンクール入選。

シューベルティアーデ（シュヴァルツェンベルク）、ヨーロッパ音楽祭（シュトゥットガルト）、サイトウキネンフェスティバル松本ほかにて、エリー・アメリンク、イェルク・デムス、白井光子、ディートリヒ・ヘンシェル、ロマン・トレケル、トマス・クヴァストフ、フリッツ・シュヴィンハンマー、ヴォルフラム・リーガー各氏のマスタークラスを受講。

これまでに、声楽を箕輪久夫、福島明也、マルクス・ゴリツキ各氏に師事、リート解釈を岡原慎也、ハンス＝ペーター・ミュラー、ヘルムート・ドイチュ、ジークフリート・マウザー各氏に師事。日本ドイツリート協会会員。

2018年5月1stCD『美しい五月に〜シューマン歌曲集』をリリース。

現在、岐阜大学助教、名古屋音楽大学非常勤講師。岐阜市在住。



岡原 慎也 ピアノ

**SHINYA
OKAHARA**

4才よりピアノを始める。全日本学生音楽コンクール中学生の部全国第一位。

東京芸術大学音楽学部付属高校を経て東京芸術大学に入学、在学中より演奏活動を始め。同大学卒業後、ドイツに留学。

ベルリン芸術大学、ミュンヘン音楽大学マスタークラスにおいて研鑽を積み、FM放送に出演等、ドイツ各地で演奏をする。帰国後、ベートーベンのピアノソナタ全曲演奏や各地でのリサイタル、コンチェルト等で高評を博す一方、シューベルトやヴォルフの歌曲の全曲演奏など、ドイツ歌曲や室内楽のパートナーとしても精力的な活動を展開、1994年にはヘルマン・ブライ、そして95年にはテオ・アダムと共演を果たし、NHK芸術劇場で放映される。1996年にはディートリヒ・ヘンシェルの初来日公演を自らプロデュースし、翌97年のシューベルトイヤー、99年のR.シュトラウスイヤーの全国ツアーを成功させる。その活動は国内のみにとどまらず、チェスキー・クルムロフ音楽祭、リヒャルト・シュトラウス音楽祭、そしてグラン・カナリア音楽祭などに招待され、ソリスト、歌曲のパートナー、室内楽奏者として幅広く活動している。

また、2006年春にはチェコにおいて指揮者としてもデビュー、ウィーンフィルの主力メンバーからなるシュトイデ・カルテットとザルツブルグ、ウィーン、大阪でのツアーも成功させる。また、ヘンシェル、同じくバリトンのシュテファン・ゲンツ、チェコのマルティヌー・カルテットなど、国内外で共演を重ねる海外アーティストも多い。

ヘンシェル、ヘルムート・ドイチュらと隔年で開催する「ドイツ歌曲解釈のための夏期講習」はドイツ、オーストリアで計8回開催され、多くの若い音楽家たちが集立っている。

1993年京都音楽賞、96年大阪文化祭賞本賞、そして2001年には音楽クリティッククラブ賞、2012年には平成23年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。これまでに20枚以上のCDがリリースされている。

現在、大阪音楽大学大学院音楽研究科長、およびピアノ部会主任教授。

日本ドイツリート協会会長。